**異文化経営学会「ダイバーシティ＆ガバナンス部会」(D&G部会)**

1. 趣旨

・企業を取り巻く環境が激変しつつある中、意思決定を担うマネジメントの重要性はますます高まっており、それとともにマネジメントへの規律付けの役割を果たすコーポレートガバナンスの実効性が厳しく問われるようになってきている。実効性を上げるためには、多様な視点からの議論や意思決定を可能にするボード・ダイバーシティ（取締役会の多様性）をはじめとした多様性の確保が不可欠である。すなわち、今後の経営を考える上では、ダイバーシティとガバナンスは重要な要素であり、かつ両者は密接不可分であるといえよう。異文化経営においてもこれらの要素を考えていくことは必須であり、異文化経営学会としても重要なテーマであると思料される。

・そこで、我々は異文化経営学会の中にダイバーシティとガバナンスを一体として取り扱う部会を新設し、理論と実践の両側面から問題にアプローチすることでその最前線を探るとともに、わが国企業のダイバーシティとコーポレートガバナンスの今後のあり方について研究を深めたいと考える。本部会の新設により、本学会と当該学問分野のさらなる発展に向けた貢献を目指す。

2. 本部会の研究テーマ

(1)企業経営とコーポレートガバナンス

・企業における意思決定とコーポレートガバナンス、コーポレートガバナンスの機関設計、各国ガバナンス制度の比較、内部統制や内部監査との関係、コーポレートガバナンス・コードの示す内容、取締役会の実効性、指名・報酬・監査のあり方、経営者人材育成とマネジメントトレーニング、資本市場の動き、ステイクホルダーとの関係、サステナブル経営とESGへの対応、等・・・ESGにおける「G」＝ガバナンス（特に実効性の確保につながる取り組みや課題）を中心に

(2)企業経営とダイバーシティ

・ボード・ダイバーシティ（取締役会の多様性）、意志決定や業績への影響、デモグラフィック型の多様性とタスク型の多様性、スキル・マトリックス、社外取締役の多様性、中核人材における多様性、多様性を確保するための態勢・人事のありかた、社会（人材市場）における多様性、多様性と企業理念、サステナブル経営とESGへの対応、等・・・ESGにおける「S」＝社会（特に人的資本の多様性がもたらす価値や課題）を中心に

3. 本部会の特徴

(1)ダイバーシティとガバナンスを一体として扱うことによる相乗効果の追求

・「ボード・ダイバーシティの実効性」「ESG投資の潮流と企業の対応」など、会合毎に統一テーマ方式による開催も検討

(2)理論と実践の融合

・国内外の研究者による最新の研究成果の発表、実務家会員による事例発表、など

(3)成果の情報発信

・研究成果を『異文化経営研究』への論文投稿等で発信することを推奨